別添資料１

保育学習　ロールプレイ－１　～育児に積極的であるが不得意分野をもつ父親の事例～

**進め方**

１　グループで役割を決め，その人の気持ちになってせりふを言い合う。一通り読み上げたら，役

割を交代してせりふを言い合う。他の人はよく聞いてそれぞれの気持ちを考える。

 ２　共感したこと，理解できなかったこと，分からないことがあれば（　　　）に記入する。

 ３　グループでの話し合い後，「この学習を通して考えたこと」の記入欄に各自の考えを書く。

登場人物：もうすぐ親になる「たくや」と「かおり」

かおり：「今日から**産休**１に入ったよ。出産予定日まで約１か月半。男の子かな。女の子かな」　 　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

 たくや：「楽しみだね。明日からは少しのんびり過ごすといいよ」

　かおり：「生まれてからは，私が先に６か月の**育児休業**２を取るから，あなたは後半の６か月をお願

いね」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

 たくや：「うん。がんばるよ。会社では**育児休暇**３を上司が理解をしてくれたおかげで，６　　　　　　　か月は長いけどおおむねみんな賛成してくれてよかったよ」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　かおり：「課長さんはお子さんが生まれて２週間の育児休暇を取ったのよね」

 　 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　たくや：「そうだよ。**イクメン**４課長と呼ばれているよ」

 　 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

－○○ちゃん誕生１か月後－

 － 赤ちゃんが夜中もずっと泣いていて眠れていない－

　かおり：「おはよう。○○ちゃんがやっと寝てくれたのが４時過ぎ。朝御飯ができたよ。簡単なもの

で，ごめんね。どうぞ」

　 　 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　たくや：「おはよう。それは大変だったね。昼間に眠るといいよ。今夜は早く帰るようにするから」

 　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

－その日の夕方－

たくやからのメール「ごめん。どうしても残業で帰りが遅くなるよ」

　かおり：「今日は○○ちゃんが一日中泣いていて買い物にも行けなかった。夕飯どうしよう」

 　 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

 たくや：「ただいま。遅くなってごめん。出来合いのものだけど，夕飯買ってきたよ。僕がこの子　　　　　　　を見ているから先に食べたらいいよ」

 　 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　－ある週末－

　たくや：「やっと週末だ。クタクタだよ。でも今夜は僕がこの子と眠るから君は一人で寝たらい

いよ」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　かおり：「いいの？ずっと泣いていて眠れないかもしれないよ」

　たくや：「大丈夫。今夜眠れなくても明日眠れればいいよ。たまには君もゆっくり寝たいよね」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

－夕飯時－

　かおり：「あ，○○ちゃんが泣いている。おむつかな」

　たくや：「いいよ。僕が替えるよ。君は食べて」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　かおり：「ありがとう」

　たくや：「お～い。かおり～。来てくれないか」

　かおり：「なあに。どうしたの？」

　たくや：「どうやらウンチみたいだ。頼むよ」

　かおり：「ママ友も言ってたけど，どうしてパパはウンチのおむつが替えられないのかな？」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　たくや：「う～ん。ウンチのおむつの替え方を教えてもらおうかな。僕もできるようにがんばるよ」

注１「産前・産後休業」：妊産婦が母体保護のためにとる休業期間。産前６週間，産後８週間。「産休」

といわれる。労働基準法より。

注２「育児休業」：子が１歳になるまでの間，育児休業をすることができる。一定の場合には１歳６か

　　　　　　　　月に達するまで延長できる（例・保育所に入所を希望しているが入所できない場合）。

法律に基づいて取得することのできる休業制度。「育休」という（「育児・介護休業

法」による）。

注３「育児休暇」：休暇中に育児をする，育児のために有給休暇を取得すること。短期間であることが

多い。こちらも「育休」という。

注４「イクメン」：「子育てを楽しみ，自身も成長する男性」を表す（厚生労働省「イクメンプロジェ

クト」による）。

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

「この学習を通して考えたこと」

上記記述例

・男性も育児休暇を取れるなんて知らなかった。

・こういうイクメンが増えるのは女性にとっても負担とかストレスが減るからいいと思う。

・お互いのことを尊重してとても仲がいい。

・二人とも育児休暇を取って子育てに積極的でよい。

・夫に育休を取らせるのはよくない。

別添資料２

保育実習　ロールプレイ－２　～性別役割分業意識をもつ父親と男女共同参画社会意識を持つ母親の事例～

**進め方**

１　グループで役割を決め，その人の気持ちになってせりふを言い合う。一通り読み上げたら，役割を交代してせりふを言い合う。他の人はよく聞いてそれぞれの気持ちを考える。

 ２　共感したこと，理解できなかったこと，分からないことがあれば（　　　）に記入する。

 ３　文中①～③に二人の未来に希望がもてる内容，希望がもてない内容のせりふを入れてみる。

 ４　グループでの話し合い後，「この学習を通して考えたこと」の記入欄に各自の考えを書く。

 登場人物　子どもが誕生したばかりの「まりこ」と「じゅんぺい」

 まりこ：育児休業中。本当は仕事に早く復帰したいが，夫も自分も実家から離れたところで

暮らしており，親の助けは得られない。６か月育児休業を申請した。

 じゅんぺい：育児にはどう関わっていいか分からない。子育ては，母親がやるものだと思っている

（会社では育児休暇を取った男性社員はいない）。

－ある平日の夜中。赤ちゃんが泣きやまない－

 まりこ：（あー，また夜泣きだ。○○くん，今日は昼間もぐずってずっと泣いていたから，私，疲れて起きられないよー。泣きやんでくれないかな）

 じゅんぺい：（さっきから泣いているのに，なんで起きて抱っこしないんだろう。僕は明日も仕事で大変なんだ。眠れないよ）

 じゅんぺい：「おい。ずっと泣いているから，抱っこしてやれよ」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　まりこ：「今，そうしようと思っていたところよ。あなたが抱っこしてあげればいいじゃない」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　じゅんぺい：「僕は明日仕事だよ。眠らせてくれよ」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　まりこ：（私だって疲れているのに。あなたは仕事っていうけど，私は，やりたい仕事を休んで育児をしているのよ）

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　 －ある日の夜遅く－

　じゅんぺい：「ただいま。今日は今度海外へ転勤するＡ雄の送別会だったよ。僕も海外勤務した　　　　　　　　いな」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　まりこ：「ねえねえ。今日はほんの少しだけど**寝返り**1ができそうだったよ」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

 じゅんぺい：「そうだ。今日，ランチを食べたお店さあ，結婚する前に君と行った○○だったよ。

メニューも変わってなかったよ」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　まりこ：「①　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

　じゅんぺい：「②　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

　まりこ：「③　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

 じゅんぺい：「僕の会社では育児休暇さえ取った男性はいないよ。そんな中でとれるわけがない　　　　　　　　じゃないか」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

 まりこ：「じゃああなたが第１号になったらいいじゃない。今日も○○県の社員が「育児休暇」　　　　　　を５日間取ったって新聞記事で見たよ」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　じゅんぺい：「そんなことをしたら出世できなくなるよ。海外勤務なんて行けっこない」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

 まりこ：「私たち，子どもが生まれてとってもうれしかったのに。どうしてこんなふうになっちゃう

んだろう」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　じゅんぺい：「仕事が休みの日は，僕もできるだけ協力するよ。育休は難しいから，民間や行政の子育て支援サービスを利用するとか，何か他の方法も考えてみようよ」

 注１「 寝返り」・・・おもに５～６か月頃からできるようになる（個人差あり）。

「この学習を通して考えたこと」

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

上記記述例

・男性がとても自己中心的。二人の子どもなので二人で育てるべき。

・育休を取りにくい状況かもしれないけど，誰かが第１号にならないと変わらない。

別添資料３

保育学習　ロールプレイ－３　～嫌いな食べ物がある子どもに接する母親の事例～

**進め方**

 １　グループで役割を決め，その人の気持ちになってせりふを言い合う。一通り読み上げたら，役割を交代してせりふを言い合う。他の人はよく聞いてそれぞれの気持ちを考える。

 ２　共感したこと，理解できなかったこと，分からないことがあれば（　　　）に記入する。

　３　最後の春子の「　＊　」に，どんな言葉を入れるとよいか考える。

 ４　グループで話し合い後，「この学習を通して考えたこと」の記入欄に各自の考えを書く。

 登場人物　母親「春子」　子ども「小夏」（３歳）

－朝食時－

　春子：「小夏，卵焼きも残さないで食べなさい」

　小夏：「いや。卵焼きは嫌い」

　春子：「じゃあ今度はゆで卵にするから今日はこの卵焼きを食べよう。お母さん一生懸命　　　　　　　　作ったんだよ」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　小夏：「いらない。卵は嫌いなの」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

－おやつの時間－

　春子：「今日のおやつはホットケーキ。でも小夏は食べないんだよね」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　小夏：「食べる，食べる。ホットケーキ大好き。食べるよ」

　春子：「あれ？小夏は卵を食べないんじゃなかったっけ？ホットケーキには卵が入ってるよ。卵は嫌

いだよね」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　小夏：「卵は嫌いだけど，ホットケーキは好きなの」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　春子：「お料理に入ってる卵もおやつに入ってる卵も同じだよ。だからどちらも食べてほ　　　　　　　　 しいな」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　小夏：「　…　」

 春子：「ホットケーキおいしそうに焼けたよ～。小夏も食べる？」

　小夏：「いいの？」

 春子：「いいよ。明日からは卵料理も食べてね」

 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

小夏：「うん」

－次の日－

　春子：「はい。小夏。ゆで卵むいたよ。どうぞ」

 小夏：「　…　」

 春子：「食べないの？昨日約束したよね？」

 小夏：「うん。でもやっぱり卵は嫌い」

 春子：「　＊　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

〈参考資料〉

『毎日新聞2012／８／14夕刊　未来の自由に向けた教え　アサツーディ・ケイ200 Xファミリーデザイン室長　岩村暢子』

「この学習を通して考えたこと」

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

上記記述例

・母親は嫌いなものを食べさせるためにいい作戦を考えたなと思った。

・子どもは好き嫌いが激しいから，こういうふうにうまく嫌いなものを食べさせるようにするのが大切だと思った。

・もし子どもが生まれて好き嫌いがあれば，そのままにしないで好き嫌いをなくす努力を親になったら子どものために子とともにやってみようと思いました。

・好き嫌いを許すのはよくない。そのうち食べられるようになるなんて放っておくのはだめ。

添付資料４

保育学習　ロールプレイ－４　～育児をがんばっている母親の事例～

**進め方**

　１　グループで一人が投書を読む。

　２　純弥と綾美の役を決め，その人の気持ちになってせりふを言い合う。

　３　一通り読んだら，同じ人が役割を交代してせりふを言い合う。他の人はよく聞いてそれぞれの気持ちを考える。

　４　共感したこと，理解できなかったこと，分からないことがあれば（　　　　）に記入する。

　５　各自で「①　　　　　」にせりふを入れる。

　６　グループ内で入れたせりふについて発表し，お互いの考え方を話し合う。

　７　「この学習を通して考えたこと」の記入欄に各自の考えを書く。

「お母さんの気持ち」　　　　　　　○○新聞　○年○月○日

冷え込みの厳しい真冬の夜中，１歳半を過ぎた娘の夜泣きが始まった。私は添い寝をしたり，抱っこをしてなんとか寝かしつけようとするけど，なかなか治まらない。すると，娘は私の腕をすり抜けてだんなのお布団の中へ。だんなが少しあやすと，すやすやと夢の中へ。卒乳してからは，私があやしても寝てくれない。

これは、とても寂しい気分になる。私はこんなに娘を大切に思い，娘のために毎日がんばっているのに，どうして私では泣き止んでくれないのかな。

一日中，私一人で娘のめんどうを見ている。食事中はご飯やお茶をこぼしたりするので目が離せないし，お風呂に入れるのだって，私一人ではなかなか大変。私の親もだんなの親も遠くに住んでいるので，そう簡単には親を頼り、代わってもらうこともできない。

　子育てをがんばっていることを，周りに分かってもらい、「よくがんばってるね」と，優しい言葉をかけてくれたなら，また前向きな気持ちになれる。

　私の大切な娘。これからも元気に育ってね。ママはこれからもあなたのためにがんばるからね。そして，イクメンだんな様。毎日本当にありがとう。

（幼なじみの純弥と綾美）

綾美：「ねえねえ，この投書読んだ？ママって大変そう～」

　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

純弥：「なんで夜に泣くんだろう？」

　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

綾美：「眠れないとか，目が覚めたとかいろいろじゃない？この子の場合はおっぱいが恋しいのかな？純弥も夜泣きがひどかったって純弥のママ言ってたよね。寝てるのを起こされるのは辛いよね」

純弥：「なんでおっぱいをやめてしまったのかな？」

　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

綾美：「成長とともに１歳半頃には卒乳している子が多いみたいだから，このママはがんばったと思うよ。

断乳ともいうみたい」

　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

純弥：「へえ。綾美，詳しいね」

綾美：「お姉ちゃんが２年前に赤ちゃんを産んだからね。私が共感するのは，子育てをがんばっていることを，周りに分かってもらい、「よくがんばってるね」と，優しい言葉をかけてくれたなら，また前向きな気持ちになれる…。のところかな。親に頼れないのは大変なんだね。うちのお姉ちゃんはしょっちゅう実家に来てお母さんに頼っているよ」

　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

純弥：「僕はイクメンのだんなさんがりっぱだと思うよ。うちの親父は今でこそ家事はやるけど，仕事

が忙しくてイクメンどころじゃなかったと思うよ」

　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

綾美：「子どもを育てるって大変なんだね。私にできるかな。でもこのママみたいに前向きになれると

いいな」

　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

純弥：「本当だね」

綾美：「このママの気持ちがもっと楽になるためには，どうしたらいいと思う？」

　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

純弥：「①　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

＊このせりふを考えた理由

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

「この学習を通して考えたこと」

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

上記記述例

・子育ては一人でできるものではなくて，いろんな人と協力してできるものだと思いました。

・子育ては実家に帰れば楽だけど，実家に頼ってばっかりもだめだからとにかく大変なんだなと思いました。相談ができる環境がないと辛いことが分かった。

・やっぱり子育ては大変だなあと思った。自分の思い通りにいかないことが多そうで辛そう。精神的ダメージが大きそう。

・子育てをする母親は大変なのでそれをサポートする父親か親の存在が必要だと思いました。

・私のいとこはまだ０歳なので，これから大きくなっていく過程で叔母は苦労すると思う。私がいとこのめんどうを見たり，叔母の話を聞いたりして手伝いたいなと思いました。

 別添資料５

**評価基準例及び記述例・せりふ例**（各ロールプレイの（　）内の記入例は省いてあります）

ロールプレイ－１

（　　　）内の記入及び「この学習を通して考えたこと」（技能）

|  |  |
| --- | --- |
| Ａ | シナリオに関する育児への理解・協力について，感想並びに全体を通した自分の考えをさまざまな観点から記入することができている。　  |
| Ｂ | シナリオに関する育児への理解・協力について，感想並びに全体を通した自分の考えを記入することができている。 |
| Ｃ |  シナリオに関する育児への理解・協力について，感想を述べることができている。（全体を通して自分の考えも述べることはできていない） |

評価Ａの例　　夫は育児に積極的で妻の負担を減らしていたのがよく分かった。そうすることで，

　　　　　　　　より妻が子どもに力を注げそうだと思った。自分の父は育児に積極的ではなかっ

　　　　　　　　たので，こうしてもらうとうれしいなと思った。

評価Ｂの例　　子育ては母一人では無理だし辛いので夫婦で支えあってやるべき。

評価Ｃの例　　たくやが優しい。

ロールプレイ－２

１　（　　　）内の記入（技能）

|  |  |
| --- | --- |
| Ａ | シナリオに関する育児への理解・協力について，広い視野をもち，感想を記入することができている。　 |
| Ｂ | シナリオに関する育児への理解・協力について，感想を記入することができている。 |
| Ｃ |  シナリオに関する育児への理解・協力について，必要性に気付いている。（感想を述べることができていない） |

２　シナリオ内の「 ① 」「 ② 」「 ③ 」について

　　評価Ａの例

二人の未来に希望がもてる内容

　　　　　　　　①「そうなの。懐かしいわね」

　　　　　　　　②「僕がこの子を見てるから君も行ってきたらいいよ」

③「あなたが育休も取ってくれたら私も仕事に行けるかしら」

二人の未来に希望がもてない内容

　　　　　　　　①「なにがランチなの！私は昨日の残りご飯を食べているのに」

　　　　　　　　②「なんだその言い方は！」

　　　　　　　　③「じゃああなたが育休を取りなさいよ。私が仕事をする！」

３　「この学習を通して考えたこと」（思考・判断・表現）

|  |  |
| --- | --- |
| Ａ | 実社会の子育てについての現状と課題に向き合い，自らの知識や経験を踏まえて考えをさまざまな観点から表現することができている。  |
| Ｂ | シナリオの内容について全体を把握し，自らの知識や経験を踏まえて考え，表現することができている。 |
| Ｃ |  シナリオの内容について，課題に向かうことはできている。（考えをまとめることができていない） |

評価Ａの例　　私は男性が仕事，女性が育児というイメージがあるので仕事をやめて育児をする

と思うけど，子どもの成長は夫婦で見守っていきたい。

評価Ｂの例　　夫が妻に育児を任せきりにしては夫婦関係も悪くなるしだめだと思う。

評価Ｃの例　　その時になって考えればいい。

ロールプレイ－３

１　（　　　）内の記入（技能）

|  |  |
| --- | --- |
| Ａ | シナリオに関する子育ての事例について，感想を適切に記入することができている。　  |
| Ｂ | シナリオに関する子育ての事例について，感想を記入することができている。 |
| Ｃ |  シナリオに関する子育ての事例について，課題に向かうことはできている。（感想を述べることができていない） |

２　シナリオ内の「＊　　　　　　　」について（思考・判断・表現）

|  |  |
| --- | --- |
| Ａ | 食事のしつけ（好き嫌いをなくす）について，自らの知識や経験を踏まえて考えを的確に表現することができている。  |
| Ｂ | 食事のしつけ（好き嫌いをなくす）について，自分の考えを表現することができている。 |
| Ｃ | 食事のしつけ（好き嫌いをなくす）について，課題に向かうことはできている。（自らの考えを表現することができていない） |

評価Ａの例　　「じゃあ一口でもいいから食べてみようか。卵はとっても栄養があるから元気

になるよ」

評価Ｂの例　「約束は守ってほしいな。がんばって食べてみようよ」

評価Ｃの例　「嫌いでもがんばって食べなさい」

３　「この学習を通して考えたこと」（思考・判断・表現）

|  |  |
| --- | --- |
| Ａ | 食事のしつけ（好き嫌いをなくす）について，お互いの考えを伝え合い，自分の考えや集団の考えを発展させることができた。 |
| Ｂ | 食事のしつけ（好き嫌いをなくす）について，お互いの考えを伝え合い，自分の考え，または集団の考えを発展させることができた。 |
| Ｃ | 食事のしつけ（好き嫌いをなくす）について，お互いの考えを伝え合うことができている。（自分の考えや集団の考えを発展させることはできていない） |

評価Ａの例　　子どもの好き嫌いをなくすのは大事だと思う。自分もそうだったが，一緒

に料理をすれば食べるようになるかもしれない。

評価Ｂの例　　好き嫌いをすると作ってくれた人に申し訳ないなと思うことができた。

評価Ｃの例　　子どもは難しい。

ロールプレイ－４

１　（　　　）内の記入及び「この学習を通して考えたこと」（技能）

|  |  |
| --- | --- |
| Ａ | 新聞記事，シナリオに関する育児について，感想並びに全体を通した自分の考えを十分記入することができている。 |
| Ｂ | 新聞記事，シナリオに関する育児について，感想並びに全体を通した自分の考えをおおむね記入することができている。 |
| Ｃ | 新聞記事，シナリオに関する育児について，感想を述べることができている。（全体を通して自分の考えも述べることはできていない。） |

評価Ａの例　　ママも子育てを経験したことがないから悩んだり，すぐに分からないことがたくさん出てきて大変だとは思うけど，夫に聞いてもらったり，隣近所の人に話を聞いてもらったりするといいと思いました。ママもパパに感謝の気持ちを伝えたりすると，二人の関係もよくなると思いました。親に頼るのも一つの方法だとは思いますが，自分たちで育てていくのが大事だと思いました。

評価Ｂの例　　相談できる人がいると心強いし，ママ友や目上の人は経験者が多いと思うので頼ることと，頼れる人を見つけることが大切だと思いました。

評価Ｃの例　　子育ては大変。

　２　シナリオ内の「①　　　」，このせりふを考えた理由について（思考・判断・表現）

|  |  |
| --- | --- |
| Ａ | 母の気持ちが楽になる方法について，自らの知識や経験をいかし，せりふを十分に表現することができている。理由が十分述べられている。 |
| Ｂ | 母の気持ちが楽になる方法について，自らの考えを表現することができている。または理由が述べられている。 |
| Ｃ | 母の気持ちが楽になる方法について，課題に向かうことはできている。（自らの考えを表現すること，理由が述べられていない） |

評価Ａの例　　ママ友をつくって聞いてもらったり，年上の人の経験を教えてもらったり，話し

　　　　　　　てもらったりすればいいんじゃない（お互い気持が共感できると楽になるから。

気分転換にもなる）。

評価Ｂの例　　ママ友をつくって相談すればいいと思うよ。

評価Ｃの例　　ママ友をつくる。